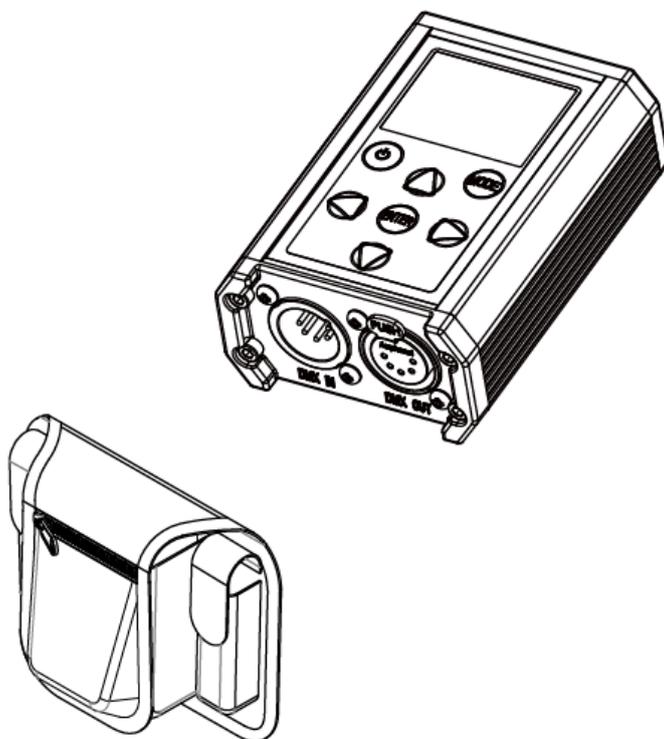


# EK

## RDM Xpress Kit

取扱説明書 Ver1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 目次

はじめに .....	3
基本仕様 .....	3
製品仕様 .....	3
安全上の注意 .....	4
開梱 .....	5
各部の名称 .....	5
基本操作 .....	6
技術資料 .....	9
ケーブルテスト画面 .....	9
メンテナンス .....	10
故障かな?と思ったら .....	10

## はじめに

この度は EK PRO RDM XPRESS KIT をご購入いただき、誠にありがとうございます。RDM XPRESS KIT は、ポータブル多機能 RDM/DMX 診断ツールキットです。本製品の性能を最大限に発揮させ、安全に、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱い説明書を必ずお読みください。

## 基本仕様

- 充電が可能なポータブル多機能 RDM/DMX 診断ツールキット
- ポータブル DMX コントローラー/レコーダーとして使用可能
- Remote Device Management による灯体の管理

## 製品仕様

モデル	RDM XPRESS KIT
RDM	灯体マッピング、アドレス、パラメーター編集
DMX	送信、受信、記録、再生
ケーブルテスト機能	ケーブルテスター機能搭載
ディスプレイ	TFT 型 LCD ディスプレイ
電源	充電式リチウムイオン電池
付属品	キャリングケース、3 - 5 ピン変換アダプター×2 個
重量	0.35kg
寸法	幅 100 × 奥行き 79 × 高さ 39mm

## 安全上の注意

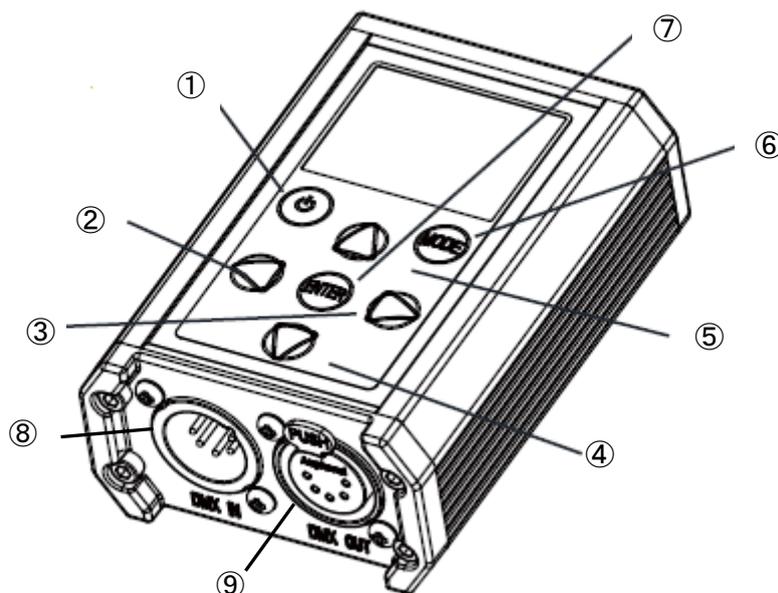
1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
4. 本製品を他の機材と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
5. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
6. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 本体カバーを外さないでください。
9. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
10. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
11. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
12. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようご注意ください。
13. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因となります。
14. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
15. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
16. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
17. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

## 開梱

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

- RDM Xpress Kit 本体
- USB-Micro USB 充電ケーブル
- キャリングケース
- 3-5ピン変換アダプターx2 個
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

## 各部の名称



1. 電源 On/Off ボタン
2. LEFT ボタン
3. RIGHT ボタン
4. DOWN ボタン
5. UP ボタン
6. MODE ボタン
7. ENTER ボタン
8. DMX コネクター-IN(5ピン XLR)
9. DMX コネクター-OUT(5ピン XLR)

## 基本操作

有機 EL ディスプレイ下にある4つのボタンで操作します。

MODE ボタンで設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。UP/DOWN ボタンによりオプション選択、または数値変更を行います。最後に MODE ボタンを押して現在のメニューから抜けます。一定時間以上(設定可能)操作がなかったとき、画面を消灯し電源をオフにします。

操作ボタンの機能

MODE ボタン	UP ボタン	DOWN ボタン	ENTER ボタン
メニューの表示 前の画面に戻る	オプションの選択 数値を増加	オプションの選択 数値を減少	決定、保存、確認、 選択

### 【 ファンクションメニュー 】

	メインメニュー	サブメニュー				説明	
1	RDM	No Fixture Found!  Discovering Product list  Attributes				RDM 互換灯体が見つからない 検出中 リストから灯体を選択 リストから灯体の設定値を選択	
2	Send DMX	T001	000	Edit Mode	Normal	各チャンネルを個別に設定	
		—	—		All	全チャンネルの数値を同時に増加	
		T512	255 (000 — 100)	Show Level	Decimal	As	ディマーカーブの表示単位
				Percent			
		Clear All Channels				全チャンネルをゼロに設定	
Dmx Sequence	Play Sequence	Up/Down: Speed	0.1” — 60.0”	Up/Down キーを使用してシーケンスの			

							スピードを調整	
					Left/ Right: Speed	0.0” - 60.0”	Left/Right キーを 使用して 各ステップの フェードタイムを 調整	
					Enter: Play/Stop		DMXシーケンスを 再生	
				Edit Sequence	Step 001 - 100	Scene End Of Sequence - 1 - 32	DMXシーケンスの 設定と編集	
				Delete Sequence	No/Yes		DMX シーケンス 消去/リセット	
				Store Scene		Scene 1 - 32	現在の DMX 値を 保存	
				Load Scene			最後に保存した シーンを読み出し	
3	Receive DMX	R001 - R512		Show Level As	Decimal Percent		ディマーカーブの 表示単位	
				Store Scene	Scene 1 - 32		DMX 現在値を シーン番号として 保存	
4	Load Scene	Playing Scene 1 - 32		Scene 1 - 32			最後に保存した シーンを読み出し	
5	Cable Test	In ----- OUT						ケーブルの断線と ショートを検出
6	Power Options	Off						パワーセーブ モード Off
		1 Minute						1 分後にパワー ダウン
		5 Minute						5 分後にパワー ダウン

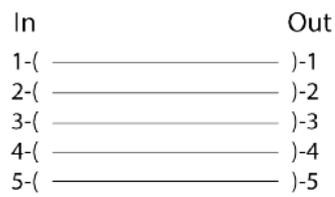
		10 Minute	10 分後にパワーダウン
7	Info	Version: Vx.x UID: xxxx	ソフトウェアのバージョンとユニット番号を表示

## 技術資料

### ケーブルテスト画面

断線、ショート無し

#### Cable Tester



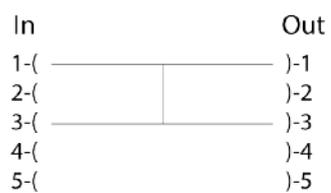
ピン 2 断線

#### Cable Tester



ピン 1 とピン 3、ショート

#### Cable Tester



## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、やわらかい布でケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで 20 日に 1 度を目安にクリーニングしてください。
3. クリーニング後、電源を入れる前には、本体が完全に乾いていることを確認してください。

## 故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、下記をご確認ください。

症状	確認事項
点灯しない	・電源ケーブルが、正しく接続されているか確認してください。 ・ディマーが絞られていないか確認してください。
暗い	・レンズを清掃してみてください。
電源が入らない	・電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ヒューズが切れていないか確認してください。
DMX で動作しない	・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・スタートアドレスが正しく設定されているか確認してください。

上記の方法でも症状が改善されない場合、また、その他の不具合が確認された場合は、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

